

## 透析患者における新型コロナワクチン(ファイザー、BNT162b2)に対する中和抗体量と透析データとの相関

特別養護老人ホーム こくら庵  
医療法人衆和会 長崎腎病院

○種河 歩 林田征俊 船越 哲

### 【背景】

当施設は、透析病院附設の特別養護老人ホームで、入居者は透析患者である。入居者 26 名に BNT162b2 を 2 回接種し、接種後の中和抗体を経時的に測定した。

### 【目的】

BNT162b2 を 2 回接種後の中和抗体量による年齢・性と透析データ(体型・栄養価・除去能・透析条件・検査値)の群間比較を行い、中和抗体量に関係する因子を調査した。

### 【対象・方法】

BNT162b2 を 2 回接種した高齢透析患者 26 名(平均年齢 86.8 才、男性 14 名、女性 12 名)。被験者の血清を、電気化学免疫法(ECLIA 法)にて Roche 社の試薬 Elecsys Anti-SARS-CoV-2 を用いて測定(BML 社)し、2 回接種後 16 週目の抗体量( $<15$ 、 $15 \leq U/ml$ )の(高値群:中央値 116.5U/ml、低値群:中央値 10.7U/ml)と透析データとを比較した。

### 【結果】

中和抗体量による透析データの群間比較では、年齢のみ有意であった( $P < 0.05$ )

### 【考察】

透析データとの相関は見られなかったが、高齢ほど中和抗体量が低い結果であった。3 回目のブースター接種後の健常人と同等の中和抗体量が得られた